## 第１号議案　令和８年度事業計画について

### １　噴火災害の伝承、学習及び火山関係資源等を活用した地域振興事業等への助成　【予算額:60,860千円】

○雲仙岳災害記念館への運営経費助成(60,000千円)

雲仙・普賢岳災害の後世への伝承及び火山関係資源の活用を図るため、記念館の管理運営に必要な経費の助成を行う。

・施設運営経費　50,000千円
・投資改修経費　10,000千円

○がまだすドーム防災教育推進助成事業

雲仙・普賢岳噴火災害から30年以上が経過し災害の記憶の風化が進む一方で、東日本大震災を受け、防災教育の重要性が見直されている状況を踏まえ、災害を知らない若い世代に広く噴火災害の脅威と教訓を伝え、防災意識の向上を図ることを目的として、雲仙岳災害記念館を活用した「がまだすドーム防災教育推進助成事業」を実施する。

・防災教育助成金　610千円

○次世代に継承する持続可能な雲仙普賢岳噴火災害伝承への助成

雲仙普賢岳噴火災害の記憶の風化が進む中で、持続的に雲仙普賢岳噴火災害の教訓を伝承する地域活動や人材育成の取り組みを推進するための助成。

・雲仙普賢岳噴火災害に関する伝承・資料収集活動への助成　150千円
(例:収集資料を活用した語り部活動)
・雲仙普賢岳噴火災害伝承に関わる人材育成及び講座開催への助成　100千円
(例:島原半島内の団体が主催する雲仙普賢岳噴火災害に関する講座や人材育成事業等)

### ２　噴火災害に関する情報収集・提供　【2～4 予算額:1,480千円】

○噴火災害に関する写真のデジタル化・提供

○噴火災害の体験談について聞き取り収集

### ３　噴火災害の伝承のために行う人材育成事業

○火山ジュニアマイスタースクール

島原半島の将来の地域防災を担う若者の人材育成及び地域の防災力向上を目的として、小学生・中学生を対象に火山・防災・ジオパーク講座を開催。年間を通じた講座に参加することで「火山ジュニアマイスター」に認定。

・講座内容
第1回「雲仙火山をめぐる調査隊」(4月下旬)
第2回「なりきりガイド体験」(6月下旬)
第3回「いざ、ガイド!!」(7月下旬)

第4回「地獄のジオツアー～雲仙地獄と温泉の恵み」(10 月中旬)
第5回「マイスター認定チャレンジ!!」(11 月下旬)
・参加者:20名
・共　催:雲仙岳災害記念館、島原半島ジオパーク協議会

○親子で普賢岳登山
雲仙・普賢岳噴火災害を伝承する目的で、島原半島の小学生とその保護者を対象にして、火山の研究者による解説を交えながら、雲仙岳周辺の登山を行うイベントを開催。
・日　程:令和８年8月中旬予定
・参加者:20名程度
・共　催:九州大学地震火山研究センター

○島原防災塾
島原地域における災害伝承、ならびに噴火災害等の自然災害に備えての地域防災力向上を目的として、島原防災塾を開催。
・日　程:令和８年7月下旬予定
・テーマ:雲仙普賢岳噴火災害をめぐる
・参加者:40名程度

○地域防災教材の作成
地域防災教材を作成し、校区の小学校へ配布予定(9月頃)

○記念館行事(いのりの灯)への協力
追悼行事で使用されるキャンドル作りのため、学校訪問して作成業務のサポートの予定(4月下旬～5月中旬)

○公民館・図書館の防災教室への出前講座(8月頃)
○島原半島ジオパーク協議会の学校の出前講座(12月頃)
○ジオパーク学術研究活動への協力(随時)

## 4　噴火災害の調査・研究

○島原防災塾、火山ジュニアマイスタースクールで使用するテキスト作成のため、島原市安中地区の噴火災害や復興、雲仙地獄周辺の温泉の恵みについて調査予定。